

MEDICAL DEVICES

プログラムとディスポーザブルセット一覧

製品一覧

品番	製品名
9008021	血液成分分離装置 COM.TEC
9400421	P1Y 白血球セット
9007251	C4Y 白血球セット
9007291	RVY 白血球セット
9007341	BMSC 骨髄バッグセット (ツインバッグ)
9400431	P1YA 白血球セット
9400201	C5L 血小板採取セット

承認情報・仕様

一般的名称	遠心型血液成分分離装置
販売名	血液成分分離装置 COM.TEC
承認番号	21700BZY00382000
寸法	60(W)×140(H)×66(D)cm
重量	130kg
電源	AC100V 50/60Hz

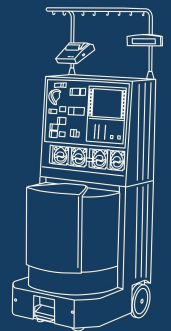
References

1. N.Schwella, K. Movassaghi, S. Scheduling, N. Ahrens, and A. Salama: Comparison of two leukapheresis programs for computerized collection of blood progenitor cells on a new cell separator. TRANSFUSION Volume 43, January 2003
2. Rainer Moog, Institute for Transfusion Medicine, University Clinics Essen: Apheresis techniques for collection of peripheral blood progenitor cells. Transfusion and Apheresis Science 31 (2004) 207-220
3. Shinya Chihara, Hitoshi Imaizumi et al: Study of safety and efficiency of peripheral blood stem cell harvest in patients with primary AL amyloidosis. Japan Society of Apheresis30(3):392-397, 2011

遠心型血液成分分離装置

COM.TEC®

多様なプログラムを搭載した
アフレーシスプラットフォーム



販売業者 株式会社リレート

〒581-0087 大阪府八尾市明美町1丁目1番24号
Tel:072-940-6804 Fax:072-940-6805

 **FRESENIUS
KABI**
caring for life

製造販売業者
フレゼニウスカービー ジャパン 株式会社
<http://www.fresenius-kabi.co.jp>

株式会社リレート

COM.TEC® — 多様なプログラムを搭載した アフレーシスプラットフォーム

さまざまなプログラムを搭載したプラットフォームであるCOM.TEC®は、幹細胞採取^{1,2,3}だけでなく、単核球採取、顆粒球採取、治療的血漿交換、赤血球交換、血小板採取、細胞除去といった多様な症例に対応することが可能です。

COM.TEC®は、信頼性の高いCCDカメラによるインターフェイス管理技術を用い、効率のよい処理を実現します。

操作の簡便性はドナー・患者様、そしてオペレーターの方の安全性にフォーカスされています。

一人ひとりのドナー・患者様にあわせた処理

複数の安全機能は、 ドナー・患者様の安全性に特化

- 気泡感知器、圧力モニター、遠心器漏血検知器およびACD検出器等複数の安全機構を有し、異常発生時にはアラームを発生させます。
- 異常発生時には、必要に応じてポンプが自動停止します。
- 異常発生による自動停止の際には、自動的に生理食塩液が滴下され血管アクセスを確保します。

すべてのプログラムにおいて自動または 手動による工程管理が可能

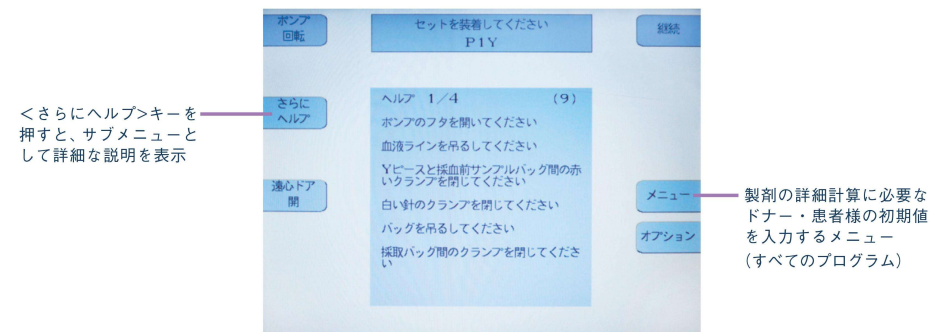
データ管理上必要な処理記録プリンタを搭載

- 処理血液量、採取細胞量、ACD-A投与量および自動停止時の内容等を自動記録するプリンタを装備しており、処理記録を残すことが可能です。



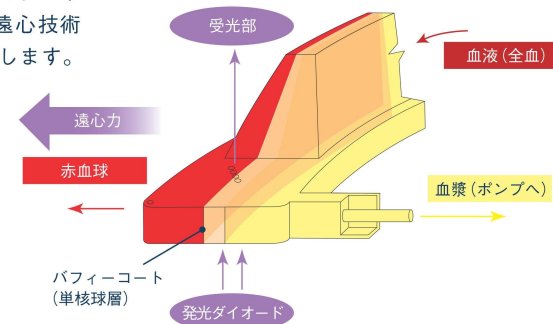
自動ガイダンスによるシンプルなユーザーガイド

重要な処理ステップは、ユーザーガイドのメインルートで説明



採取原理

ドナー・患者様の血液を専用のディスプレイ回路を使用して体外循環させ、遠心技術を用いて各血液成分を比重ごとに分離します。コンピューター制御された遠心は血液成分を最適な状態に分離し、分離された血液成分は光学モニタにより常時監視されます。このモニタと連動して制御される血液ポンプが自動的に遠心器内のインターフェイスを最適位置に維持するため、オペレーターによる調整を最小限に抑えることができます。



自動採取のためのAutoMNCプログラム

スピルオーバー検出器が、通り過ぎる細胞分画を検知し、スピルオーバーランプを「返血」から「採取」に切り替えます。

